

# 第 2 回 豊岡市公営企業審議会

豊岡市上下水道部  
2025年6月2日



# 審議会委員名簿 (2025.6.2現在)

(敬称略、五十音順)

氏名	所属	区分
うえだ きょうぞう 上田 恭三	豊岡市区長連合会 理事	市民
かめうち えいさく 瓶内 栄作	芸術文化観光専門職大学 芸術文化・観光学部准教授	学識経験者
さかもと しょうぞう 坂本 昇造	豊岡商工会議所 副会頭	市民
しまさき えいこ 島崎 栄子	(一社) ちいきのて事務局長	市民
た り ゆ か 田里 有香	税理士	市民
つづき よういちろう 都築 洋一郎	兵庫県立大学 国際商経学部准教授	学識経験者
なかやす よしえ 中易 佳恵	酒造業経営	市民
なんば ただし 難波 正	公営事業者 (豊岡エネルギー(株)代表取締役社長)	市民
にしむら しょういち 西村 昇一	豊岡市商工会 専務理事	市民
はしもと わかこ 橋本 和加子	スポーツ店経営	市民

任期：2024.6.1～2026.5.31

# 【目 次】

- 1 上下水道事業の現状と課題
- 2 上下水道事業の概要と今後の取組み
  - 2－1 水道事業の概要と今後の取組み
  - 2－2 下水道事業の概要と今後の取組み
- 3 上下水道会計のしくみ
  - 3－1 上下水道会計のしくみ
  - 3－2 水道料金・下水道使用料の改定の状況
  - 3－3 現在の水道料金の体系
  - 3－4 現在の下水道使用料の体系
- 4 今後の収支見直し
  - 4－1 水道事業 今後の収支見直し
  - 4－1 下水道事業 今後の収支見直し
- 5 水道料金・下水道使用料見直し検討スケジュール

# 1 上下水道事業の現状と課題

上下水道は、安全・安心な市民生活や企業活動に必要不可欠なライフラインであり、将来にわたって安定的にサービスを提供し続ける必要があるが、次の課題に直面しています。

## 《現状》

### ◆ 人口減少、節水型社会への移行

- ➡ 有収水量の減少＝料金収入の減少
- ➡ 施設に余裕が生じる（施設の効率性低下）

### ◆ 多くの施設の老朽化が進んでいる

- ◆ 災害に強い強靱な施設の構築＝耐震対策
- ➡ 更新・耐震化に多額の費用

### ◆ 広い市域に多くの施設が点在

- ➡ 多額の維持管理費

## 《課題》

- ◎ 施設規模の適正化と効率的運用が必要
- ➡ 健全な経営の確保！！

## 2-1 水道事業の概要と今後の取組み

### 水道事業の概要 (2024. 3. 31時点)

行政区域内人口	75,919 人
給水人口	75,900 人
普及率	99.97 %
総配水量	11,825,738 m <sup>3</sup>
有収水量	9,543,245 m <sup>3</sup>
有収率	80.70 %
料金収入 (税抜)	1,738,906,956 円
供給単価 ※1	182.21 円
給水原価 ※2	182.71 円
管路延長	1,024 km

#### ◎有収水量

浄水場でつくられた水道水のうち、料金徴収の対象となった水量

#### ◎無収水量・無効水量 (2,282,493m<sup>3</sup>)

消火活動による使用など料金を徴収しない水量や漏水などにより無効となった水量

※総配水量 - 無収水量・無効水量 = 有収水量

※1 供給単価 … 有収水量 1 m<sup>3</sup>当たりの料金収入

※2 給水原価 … 有収水量 1 m<sup>3</sup>当たりの給水に係る費用

## 2-1 水道事業の概要と今後の取組み

### 水道事業の今後の取組み

- 安全・安心な水道水の供給

過去に集中的に整備した水道施設や水道管の老朽化が進んでおり、今後、多額の費用が必要となります。老朽化が進むと、浄水・配水能力の低下や断水などの事故が発生するおそれが高くなるため、適切に更新を進めます。

- 災害に強い水道施設の構築

毎年、全国各地で地震が発生していますが、豊岡市の基幹管路の耐震化率は**17.9%**と、全国平均**43.3%**を大きく下回っています（**2023年度末**現在）。施設や管路の耐震化を進め、地震時の生活用水・消火用水の確保に努めます。

- 効率的な事業運営

主に人口減少に伴う水需要の減少から、既存の施設は給水能力が過大なものになりつつあります。施設のダウンサイジングや周辺施設との統廃合など、適切な更新を行うことで長期的な目線で支出を抑えるよう努めます。

## 2-1 水道事業の概要と今後の取組み

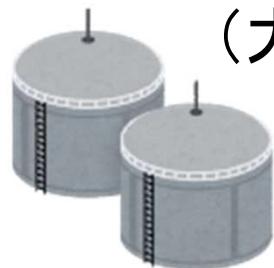
### 【主要事項】2025「水道施設整備事業」

・佐野浄水場(豊岡) 老朽化した電気設備、機器更新〔単独〕 3か年  
1,032,000千円

・大見塚受水池・配水池改築(城崎)〔補助〕

(大見塚+荒船+観音浦)×83%の容量へ

統合してダウンサイジング



340,008千円

・鬼神谷配水池(竹野) 耐震化〔補助〕

81,711千円

・城山配水池(出石) 耐震化〔補助〕

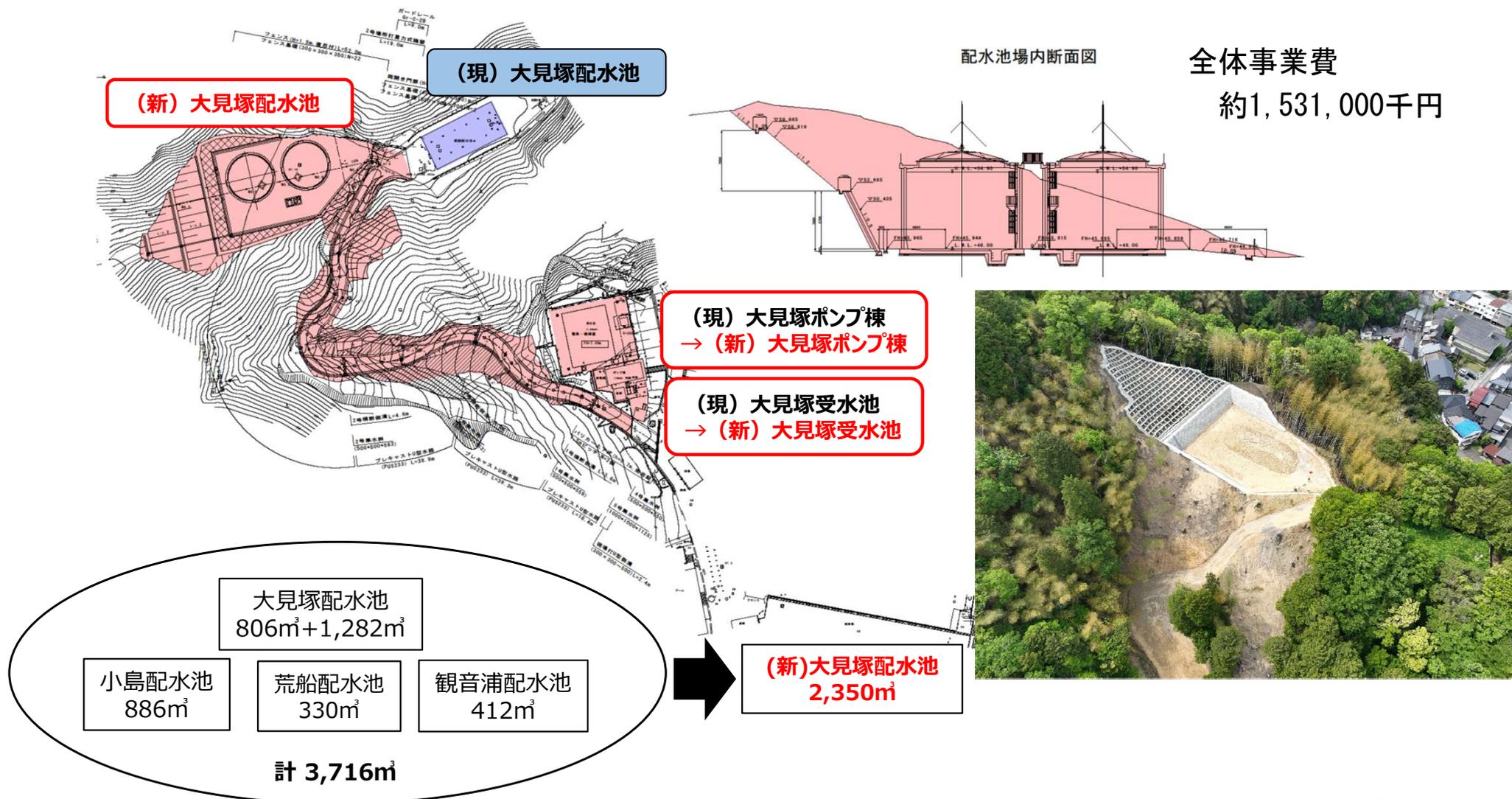
78,393千円

・老朽管更新(耐震化)〔単独〕

295,000千円

# 2-1 水道事業の概要と今後の取組み

## 大見塚受水池・配水池改築事業 2017年度～



**今後の水需要を考慮したダウンサイジング**  
(大見塚配水池、荒船配水池、観音浦配水池を統合、港西地区へも配水)

## 2-2 下水道事業の概要と今後の取組み

### 下水道（污水）事業の概要（2024.3.31時点）

行政区域内人口	75,919 人
処理区域内人口	75,478 人
水洗化済人口	71,828 人
普及率	99.42 %
水洗化率	95.16 %
総処理水量	9,900,617 m <sup>3</sup>
有収水量	8,380,868 m <sup>3</sup>
無収水量（不明水）	1,519,749 m <sup>3</sup>
有収率	84.65 %
使用料収入（税抜）	1,498,361,407 円
使用料単価 ※1	178.78 円
汚水処理原価 ※2	375.0 円
汚水管渠延長	970.5 km

#### ◎有収水量

処理場で処理した水量のうち、使用料収入の対象となった水量

#### ◎無収水量（不明水）

下水管の隙間等から下水道に入り込んだ雨水など、使用料収入の対象とならなかった水量

#### ※1 使用料単価

有収水量 1 m<sup>3</sup>当たりの下水道使用料

#### ※2 汚水処理原価

有収水量 1 m<sup>3</sup>当たりの汚水処理に係る費用





## 3-1 上下水道会計のしくみ

### ■ 企業会計方式

地方公営企業法に基づく企業会計方式（発生主義、複式簿記）によっている。

#### ※地方公営企業法

地方公共団体が経営する地方公営企業が、常に企業としての経済性を発揮するとともに、その本来の目的である公共の福祉を増進するために制定された法律

### ■ 損益取引（収益的収支）と資本取引（資本的収支）

企業会計では歳入及び歳出を、

- ①当年度の損益取引に基づくものと、
  - ②いわゆる投下資本の増減に関する取引と
- に区分して企業の期間損益計算を明らかにする。

このため、予算も「収益的収支」と「資本的収支」の2本立てとなっている。

## 3-1 上下水道会計のしくみ

### ■地方公営企業の経営原則

地方公営企業は、

- ①企業の経済性の発揮 と
- ②公共の福祉の増進 を経営の基本原則としている。

○地方公営企業法

(経営の基本原則)

第3条 地方公営企業は、常に企業の経済性を発揮するとともに、その本来の目的である公共の福祉を増進するように運営されなければならない。

### ■独立採算の原則

経営に要する経費は、経営に伴う収入（料金）をもって充てなければならない。

## 3-1 上下水道会計のしくみ

### ■独立採算の原則

#### ○地方財政法

(公営企業の経営)

第6条 公営企業で政令で定めるものについては、その経理は、特別会計を設けてこれを行い、その経費は、その性質上当該公営企業の経営に伴う収入をもつて充てることが適当でない経費及び当該公営企業の性質上能率的な経営を行なつてもなおその経営に伴う収入のみをもつて充てることが客観的に困難であると認められる経費を除き、当該企業の経営に伴う収入（第5条の規定による地方債による収入を含む。）をもつてこれに充てなければならない。但し、災害その他特別の事由がある場合において議会の議決を経たときは、一般会計又は他の特別会計からの繰入による収入をもつてこれに充てることができる。

## 3-1 上下水道会計のしくみ

### ■独立採算の原則

#### ○地方公営企業法

(経費の負担の原則)

第17条の2 次に掲げる地方公営企業の経費で政令で定めるものは、地方公共団体の一般会計又は他の特別会計において、出資、長期の貸付け、負担金の支出その他の方法により負担するものとする。

- (1) その性質上当該地方公営企業の経営に伴う収入をもつて充てることが適当でない経費
- (2) 当該地方公営企業の性質上能率的な経営を行なつてもなおその経営に伴う収入のみをもつて充てることが客観的に困難であると認められる経費

2 地方公営企業の特別会計においては、その経費は、前項の規定により地方公共団体の一般会計又は他の特別会計において負担するものを除き、当該地方公営企業の経営に伴う収入をもつて充てなければならない。

## 3-2 水道料金・下水道使用料の改定の状況

豊岡市の水道料金・下水道使用料は、算定期間を5年間とし、5年ごとに適正な水準を検討している。

水道料金は2023年度に改定率17.3%、下水道使用料は2016年度に改定率11.3%の値上げを行っている。

料金算定期間と過去の改定率

年度		2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)
改定率	水道	19.8%					据置					新型 コロナ により 1年 先送り		17.3%			
	下水道	据置					11.3%						据置				

### 3-3 現在の水道料金の体系

- ・口径別基本料金（基本水量なし）
- ・用途別従量料金
- ・一般用途は段階別の逦増型従量料金

基本料金（1月につき）		従量料金（1m <sup>3</sup> につき）				
メーターの口径	料金	区分	用途			
			一般	公衆浴場	豊岡中核工業団地	城崎町湯島財産区営浴場
13mm	1,056円	10m <sup>3</sup> までの分	82.5円	77.0円	82.5円	143.0円
20mm	2,090円	10m <sup>3</sup> を超え 20m <sup>3</sup> までの分	137.5円			
25mm	4,257円	20m <sup>3</sup> を超え 30m <sup>3</sup> までの分	143.0円			
40mm	14,850円	30m <sup>3</sup> を超え 50m <sup>3</sup> までの分	154.0円			
50mm	23,210円	50m <sup>3</sup> を超え 100m <sup>3</sup> までの分	214.5円			
75mm	60,830円	100m <sup>3</sup> を超える分	220.0円			
100mm	114,950円					
125mm以上	管理者が別に定める額					

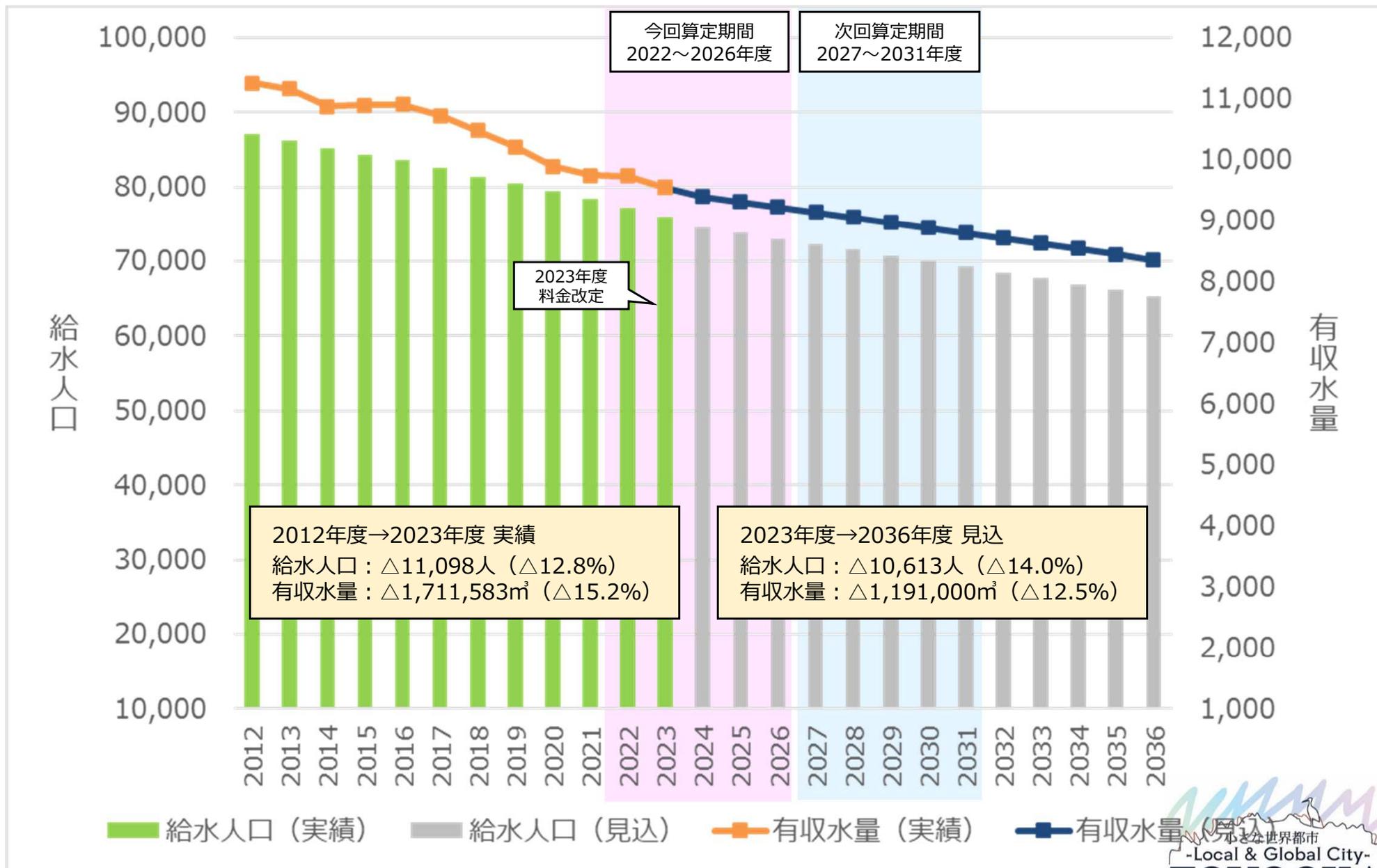
### 3-3 現在の下水道使用料の体系

- ・ 二部使用料制（基本使用料と従量使用料） ※基本使用料に基本水量なし
- ・ 累進使用料制

基本使用料（1月につき）		従量使用料（1m <sup>3</sup> につき）			
一般	公衆浴場	区分	一般	公衆浴場	城崎町湯島 財産区営浴場
660円	660円	10m <sup>3</sup> まで	88.0円	44円	183.7円
		10m <sup>3</sup> を超え30m <sup>3</sup> まで	187.0円		
		30m <sup>3</sup> を超え50m <sup>3</sup> まで	214.5円		
		50m <sup>3</sup> を超え100m <sup>3</sup> まで	242.0円		
		100m <sup>3</sup> を超え500m <sup>3</sup> まで	269.5円		
		500m <sup>3</sup> を超える分	286円		

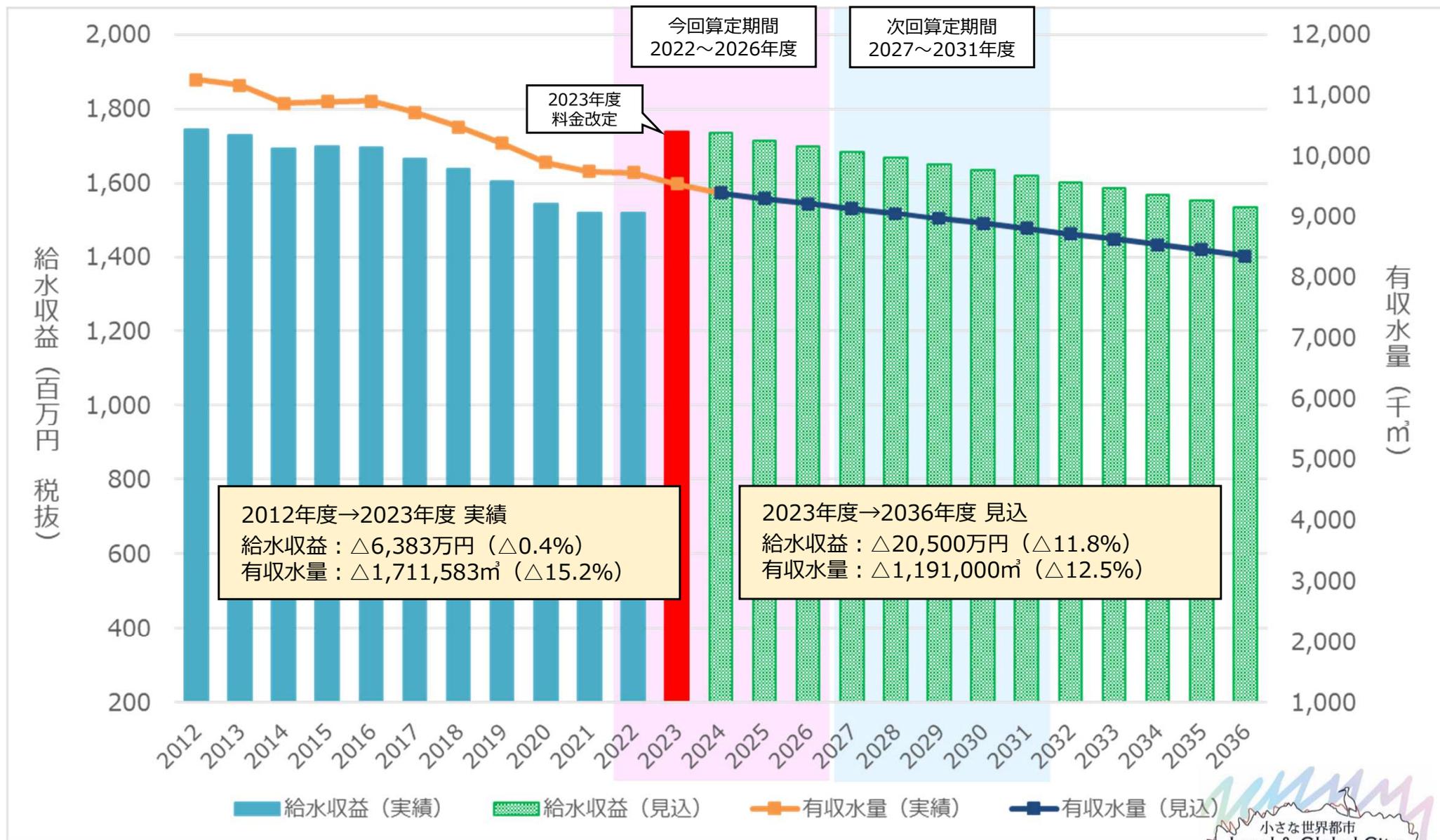
# 4-1 水道事業 今後の収支見通し

## 給水人口と有収水量の推移と見込 (2012~2036年度)



# 4-1 水道事業 今後の収支見通し

## 給水収益と有収水量の推移と見込 (2012~2036年度)



# 4-1 水道事業 今後の収支見通し

## 収支見通し (2025年3月版)

※端数処理の都合上、合計が一致していない場合がある。

料金改定  
決算

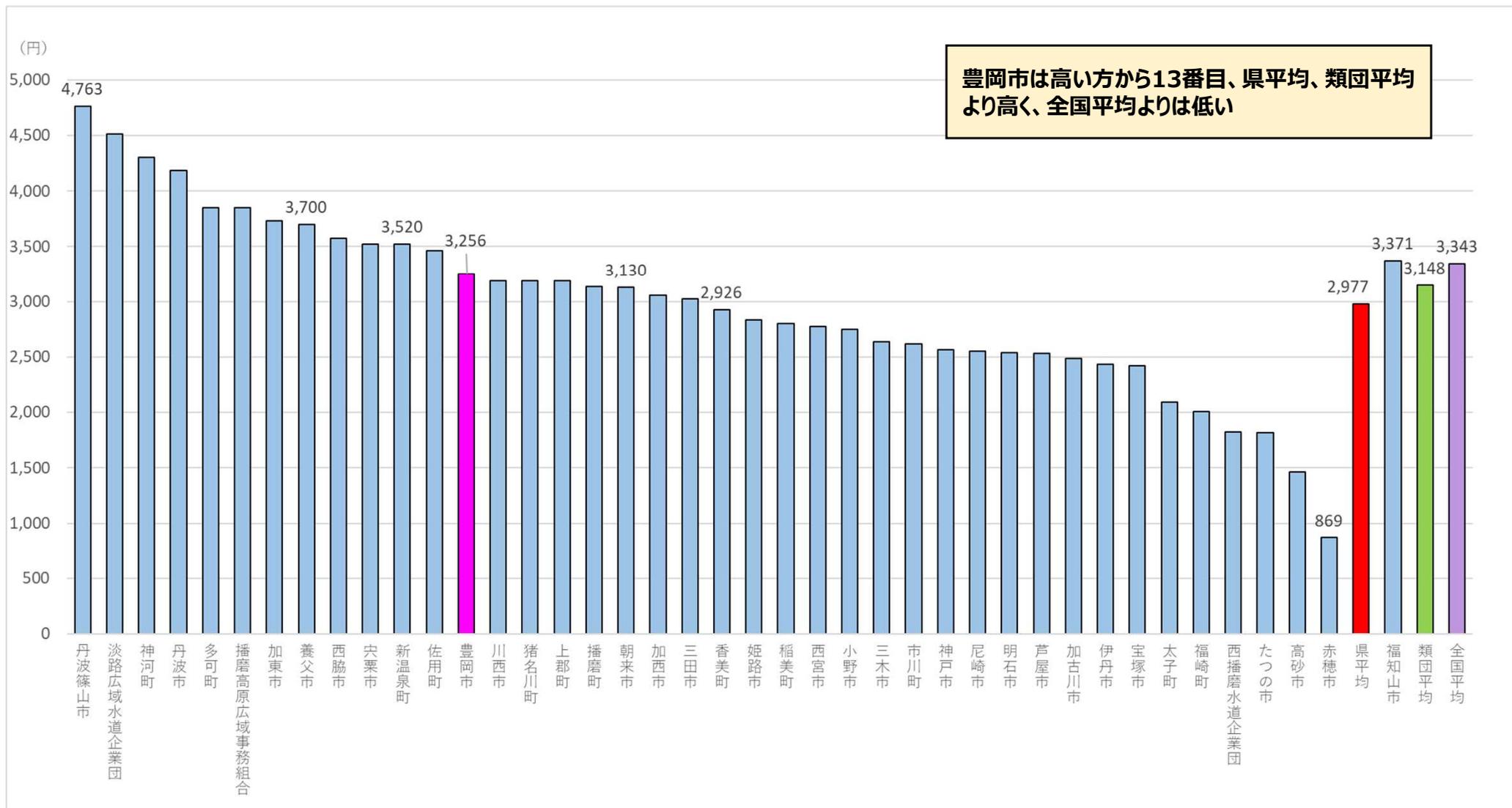
### 収益的収支 (百万円、税抜)

項目/年度		R05	R06	R07	R08	R09	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	
収益的 収支	収入 (収益)	2,360	2,333	2,291	2,284	2,251	2,226	2,196	2,145	2,101	2,047	2,008	1,979	1,947	1,912	
	料金収入	1,739	1,735	1,715	1,699	1,683	1,667	1,651	1,636	1,619	1,602	1,586	1,569	1,552	1,534	
	一般会計繰入金等	260	254	239	252	245	235	225	194	175	143	131	126	120	120	
	長期前受金戻入	265	258	249	245	241	243	239	234	226	219	211	203	194	177	
	その他	95	87	88	88	82	81	81	81	81	82	81	81	81	81	
	支出 (費用)	2,031	2,051	2,096	1,953	1,893	1,913	1,896	1,889	1,925	1,960	1,902	1,899	1,868	1,846	
	維持管理費	759	773	798	680	725	669	663	670	696	711	660	678	663	666	
	うち非現金支出分	137	111	21	29	81	19	20	21	54	64	20	31	23	21	
	減価償却費	1,126	1,144	1,167	1,147	1,041	1,112	1,104	1,092	1,094	1,108	1,099	1,079	1,064	1,038	
	支払利息	146	134	130	126	126	132	129	127	136	141	143	142	141	142	
単年度損益	328	282	195	331	358	313	300	256	176	87	106	80	79	65		
累積損益 (利益処分後)	1,698	1,880	1,974	2,065	1,985	2,072	2,176	2,130	2,197	2,184	2,190	2,169	2,148	2,114		
2022-2026 損益計					1,231	2027-2031 損益計					1,403					

### 資本的収支 (百万円、税込)

項目/年度		2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036
資本的 収支	収入	566	392	792	1,023	1,073	438	536	876	736	644	483	438	558	495
	企業債	491	291	403	622	728	369	422	795	638	504	404	356	471	406
	一般会計繰入金等	64	82	236	239	208	69	89	74	84	93	79	82	87	89
	国県補助金	4	19	153	162	137	0	25	7	14	17	0	0	0	0
	その他	7	0	0	1	0	0	0	0	0	30	0	0	0	0
	支出	2,218	2,361	2,097	2,389	2,511	1,604	1,679	2,174	1,861	1,663	1,431	1,351	1,502	1,310
建設改良費	1,235	1,363	1,109	1,417	1,562	689	817	1,411	1,159	981	745	668	855	745	
企業債償還金	983	998	988	972	949	915	862	763	701	682	686	683	646	565	
収支過不足額	△ 1,651	△ 1,968	△ 1,305	△ 1,366	△ 1,438	△ 1,165	△ 1,143	△ 1,298	△ 1,125	△ 1,020	△ 948	△ 913	△ 944	△ 815	
補てん 財源	使用額	1,651	1,968	1,305	1,366	1,438	1,165	1,143	1,298	1,125	1,020	948	913	944	815
	翌年度繰越額	2,834	2,259	2,167	2,167	2,088	2,175	2,279	2,233	2,299	2,392	2,516	2,639	2,734	2,922
企業債残高		9,599	8,893	8,307	7,957	7,737	7,191	6,751	6,783	6,720	6,541	6,259	5,932	5,757	5,598
現金預金残高		2,571	2,353	2,184	2,288	2,278	2,017	2,195	2,349	2,334	2,370	2,416	2,521	2,681	2,836

# 4-1 (参考) 水道料金県内比較 (20m<sup>3</sup>使用、1か月あたり 税込み)

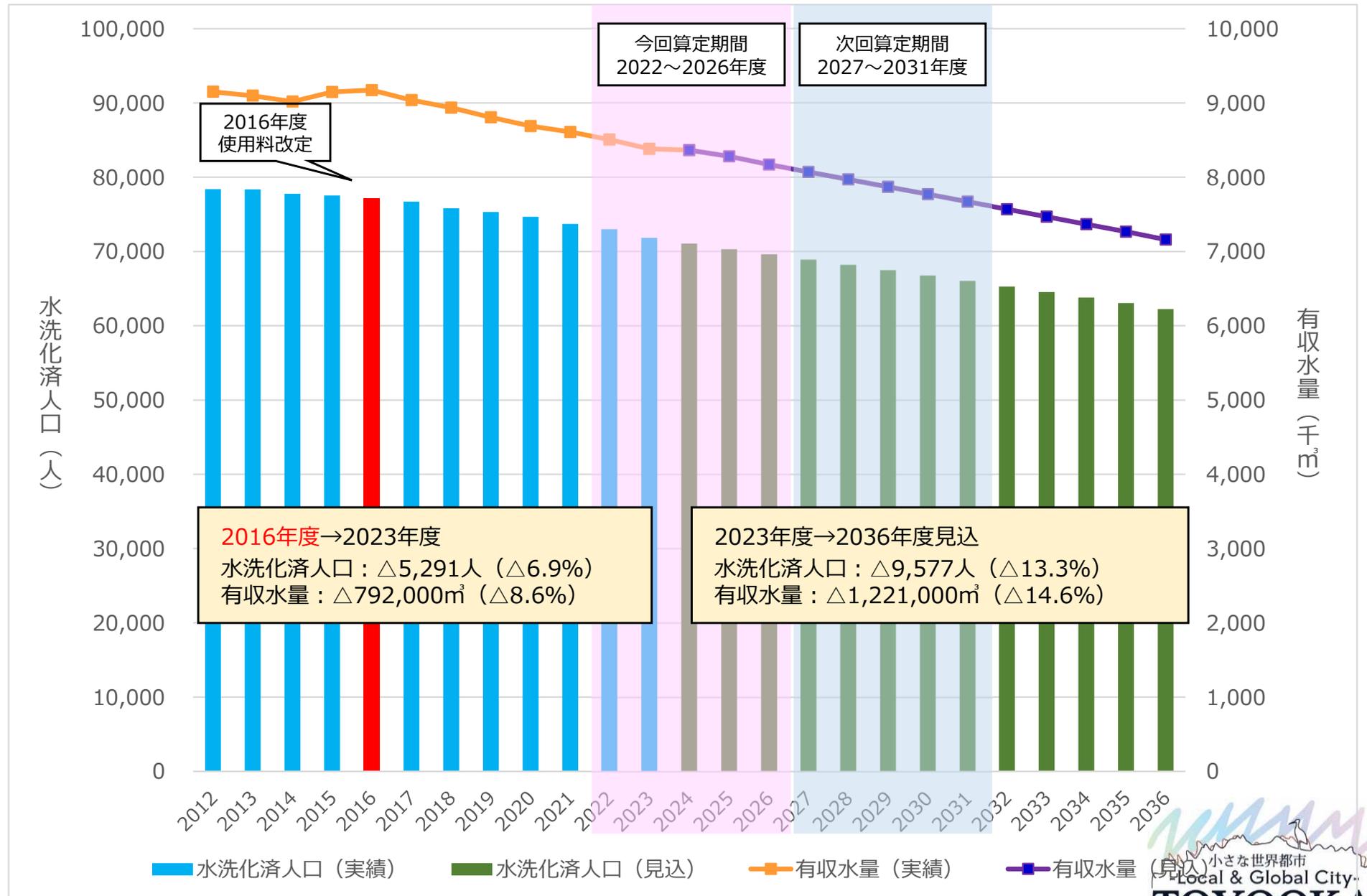


出典：公益社団法人日本水道協会「水道料金表」  
兵庫県「兵庫県内市町公営企業の経営指標」  
※2024年3月31日現在



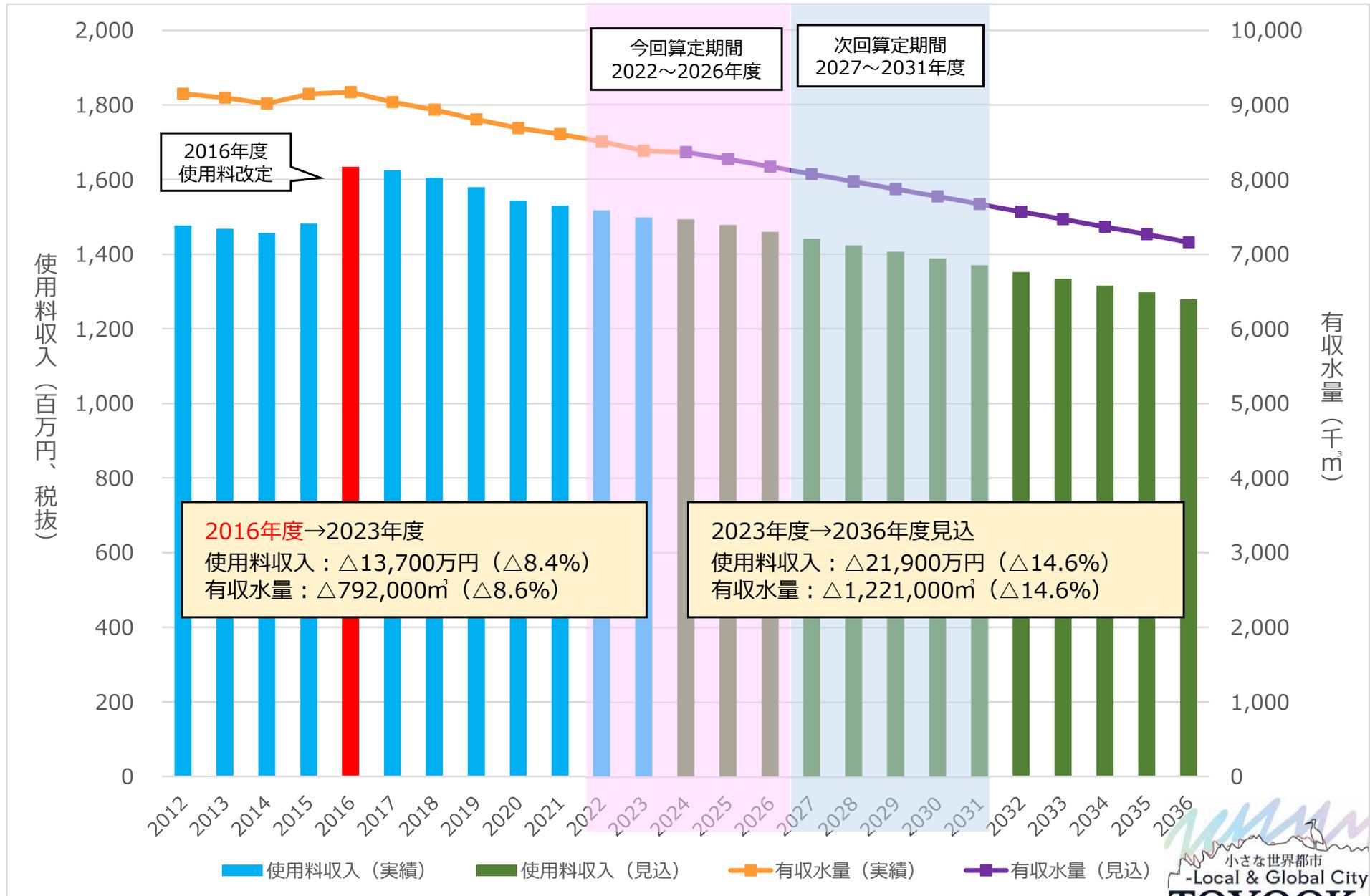
# 4-2 下水道事業 今後の収支見通し

## 水洗化済人口と有収水量の推移と見込 (2012~2036年度)



# 4-2 下水道事業 今後の収支見通し

## 使用料収入と有収水量の推移と見込（2012～2036年度）



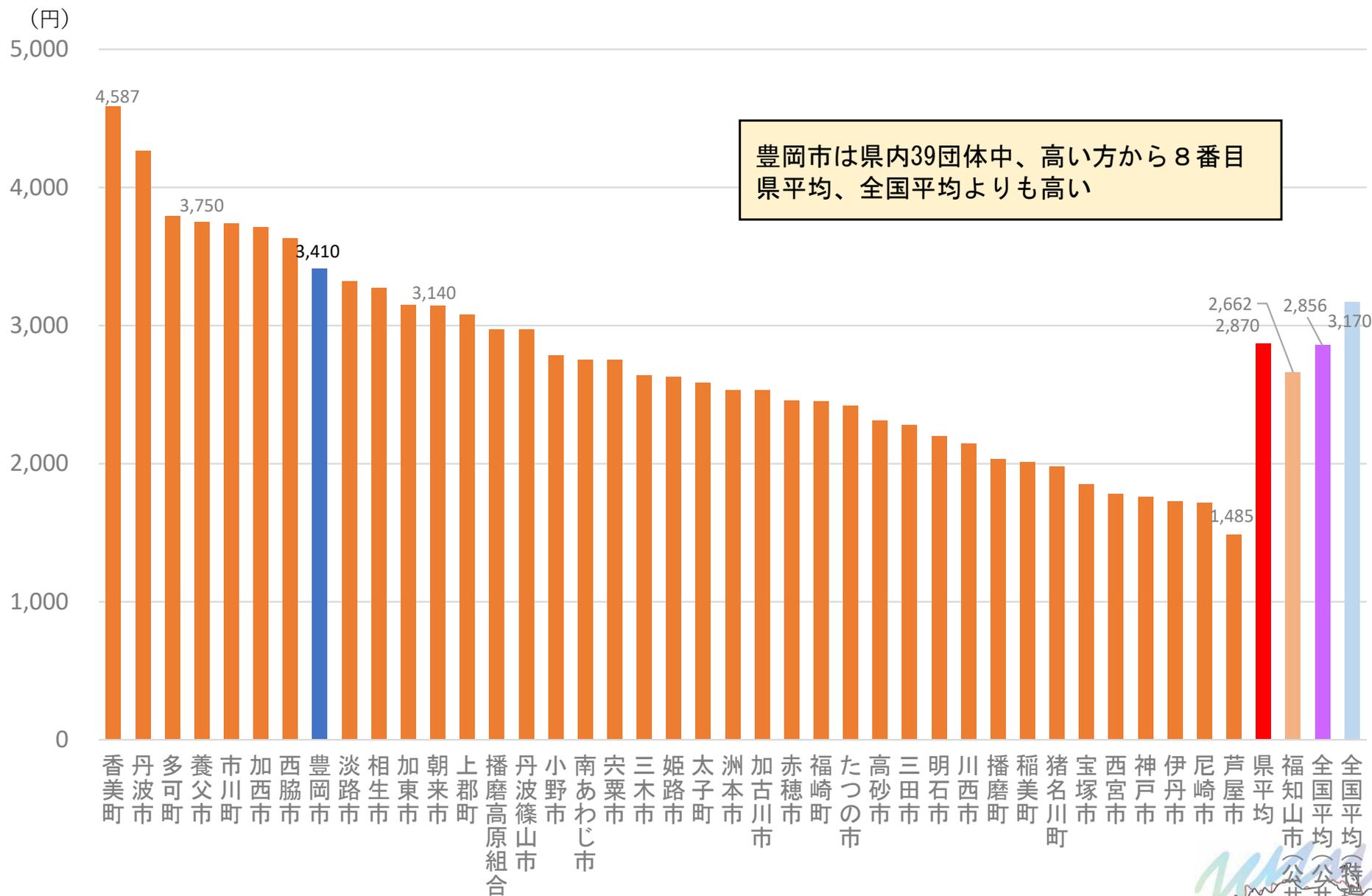
# 4-2 下水道事業 今後の収支見通し

## 収支見通し (2025年3月版)

※端数処理の都合上、合計が一致していない場合がある。

収益的収支 (百万円、税抜)		決算															
		R05	R06	R07	R08	R09	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20
項目 / 年度		2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038
収益的収支	収入 (収益)	5,430	5,043	5,502	5,421	5,369	5,330	5,239	4,818	4,564	4,336	4,184	4,109	4,087	4,042	4,007	3,992
	下水道使用料	1,498	1,493	1,478	1,460	1,440	1,420	1,400	1,380	1,360	1,340	1,320	1,301	1,281	1,260	1,240	1,219
	一般会計繰入金等	2,514	2,149	2,593	2,606	2,580	2,531	2,428	1,986	1,725	1,470	1,291	1,192	1,165	1,130	1,105	1,094
	長期前受金戻入	1,399	1,376	1,407	1,333	1,327	1,357	1,388	1,429	1,456	1,503	1,550	1,593	1,619	1,629	1,640	1,656
	その他	18	24	24	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23
	支出 (費用)	4,701	4,681	4,781	4,462	4,472	4,492	4,532	4,611	4,669	4,771	4,874	4,968	5,028	5,050	5,080	5,122
	維持管理費等	1,082	1,155	1,151	965	970	940	940	941	942	942	942	942	942	942	942	942
	うち、非現金支出分	53	65	7	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
	減価償却費	3,155	3,111	3,242	3,124	3,149	3,219	3,278	3,360	3,415	3,506	3,596	3,677	3,726	3,737	3,756	3,784
	支払利息	464	414	388	372	353	334	315	310	312	323	337	349	360	371	383	396
単年度損益	729	362	721	960	897	837	707	207	△ 104	△ 436	△ 690	△ 859	△ 941	△ 1,008	△ 1,073	△ 1,130	
累積損益 (利益処分後)	0	0	0	622	511	552	1,144	799	486	51	△ 639	△ 1,499	△ 2,439	△ 3,447	△ 4,521	△ 5,651	
資本的収支 (百万円、税込)																	
項目 / 年度		2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038
資本的収支	収入	2,639	3,751	4,410	3,361	3,080	2,662	2,863	2,488	3,014	2,708	2,401	2,097	2,148	2,107	2,238	2,067
	企業債	1,931	2,368	2,710	2,109	1,836	1,427	1,454	1,245	1,488	1,317	1,169	1,044	1,069	1,048	1,114	1,028
	一般会計繰入金等	2	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	国庫補助金	697	1,353	1,699	1,252	1,243	1,235	1,409	1,242	1,526	1,390	1,232	1,052	1,079	1,059	1,124	1,039
	その他	9	6	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	支出	5,210	6,358	7,105	6,039	5,926	5,641	5,790	5,085	5,319	4,625	4,042	3,569	3,566	3,456	3,538	3,336
	建設改良費	1,497	2,628	3,349	2,427	2,447	2,369	2,726	2,447	2,985	2,690	2,390	2,093	2,147	2,107	2,238	2,067
企業債償還金	3,712	3,730	3,756	3,612	3,478	3,271	3,063	2,638	2,335	1,935	1,651	1,476	1,419	1,349	1,300	1,269	
収支過不足額	△ 2,570	△ 2,607	△ 2,695	△ 2,678	△ 2,846	△ 2,978	△ 2,927	△ 2,597	△ 2,305	△ 1,917	△ 1,640	△ 1,472	△ 1,418	△ 1,349	△ 1,299	△ 1,269	
補てん財源																	
使用額	2,570	2,607	2,695	2,678	2,846	2,978	2,927	2,597	2,305	1,917	1,640	1,472	1,418	1,349	1,299	1,269	
翌年度繰越額	1,667	1,331	1,345	1,531	1,519	1,349	1,144	799	486	260	86	△ 61	△ 210	△ 359	△ 509	△ 681	
企業債残高	39,391	38,037	36,997	35,499	33,861	32,020	30,412	29,021	28,175	27,557	27,075	26,643	26,293	25,992	25,805	25,564	
現金預金残高	3,245	2,906	2,559	3,239	3,325	3,124	2,948	2,473	2,505	2,156	1,839	1,550	1,441	1,295	1,214	970	

# 4-2 (参考) 下水道使用料県内比較 (20m<sup>3</sup>使用、1か月あたり 税込み)



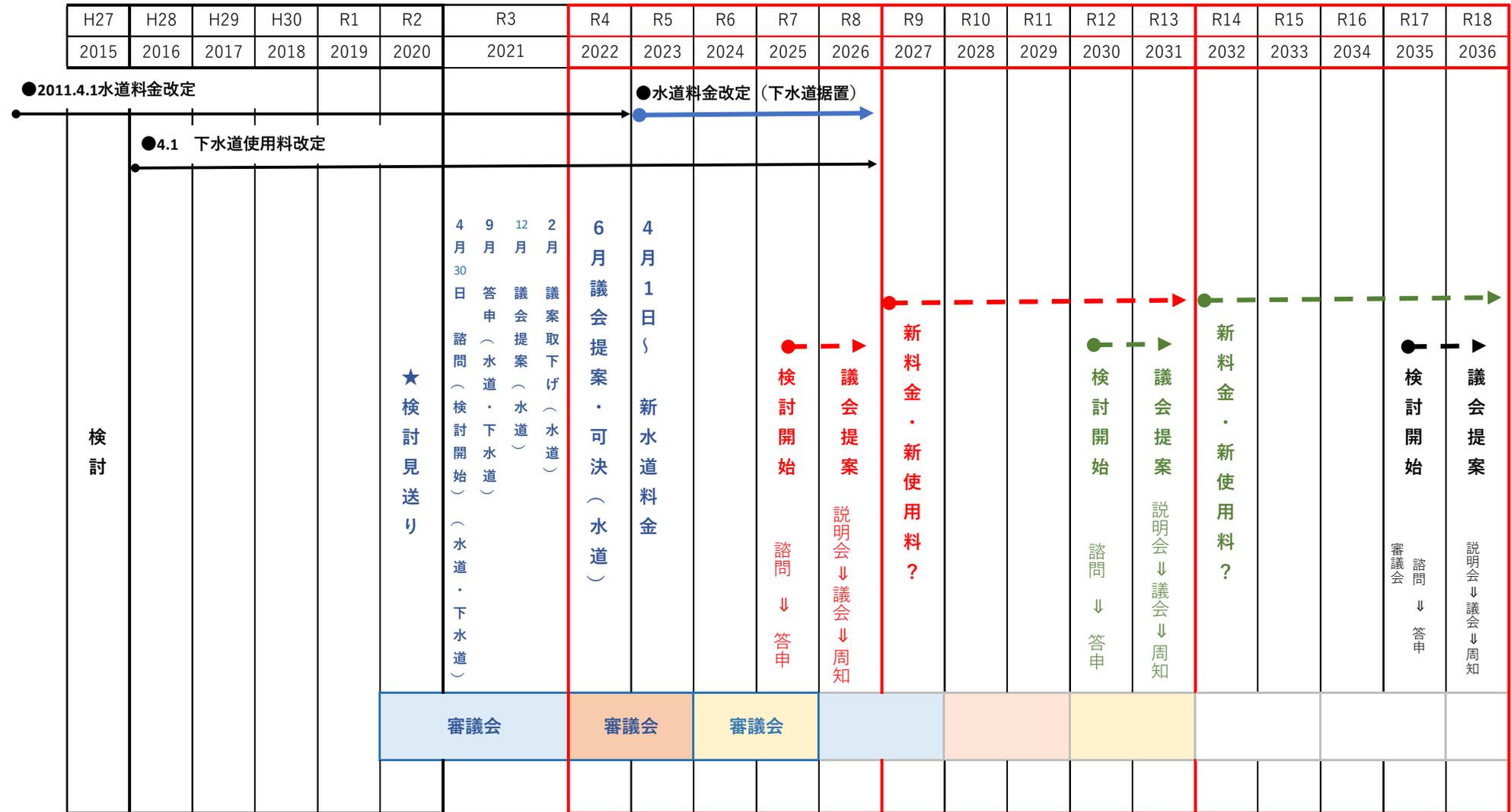
※神河町・佐用町・新温泉町（旧浜坂町地域）は、人頭制（基本料金+人数割料金）の使用料のため、グラフには入れていない。

出典：兵庫県HP 令和5年度兵庫県内市町公営企業の経営指標（※2024年3月31日現在）



# 5 水道料金・下水道使用料見直し検討スケジュール

## 水道料金・下水道使用料見直し検討 スケジュール



★新型コロナウイルス感染症のため、2020年度の検討を見送り、算定期間を2022年度からの5ヵ年とする

※審議会任期 (6月～5月の2ヵ年)



# 5 水道料金・下水道使用料見直し検討スケジュール

	2025(令和7)年度										2026(令和8)年度				2027 (令和9)年度
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	~	4月~
	2日	15日													
審議会	第2回 諮問	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回 答申							
市議会									説明会			全員協議会	議案上程		
市民	審議会の審議内容のHPでの公開									パ説明会 ブコメ				周知	

新料金・使用料適用